

第4学年外国語活動指導案

日時 2021年7月1日(木)

対象 第4学年3組33名

会場 4年3組 教室

〈中学年部会の目指す児童像〉
すすんで自分の思いや考えを表現し、伝え合おうとする児童

1 単元名 Unit3 I like Mondays. (Let's Try! 2)

2 単元の目標

- (1) 世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。
- (2) 自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
- (3) 相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	世界には多様な生活があることに気付いている。 What day is it? It's ~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't. の表現を知り、好きな曜日やその理由について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	相手に伝わるように工夫しながら、好きな曜日の言い方やその理由を尋ねたり答えたりする表現を聞き取っている。	What day is it? It's ~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't. の表現を使った、英語の音声やリズムを聞き取ろうとしている。
(やり取り) 話すこと	What day is it? It's ~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't. の表現を知り、その表現を使って、好きな曜日やその理由について尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	友達の好きな曜日やその理由について知り、自分のことを積極的に伝えている。好きかどうかを尋ねたり答えたりして、自分の好きな曜日やその理由について伝え合っている。	What day is it? It's ~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't. の表現を使って、好きな曜日やその理由について尋ねたり答えたりしようとしている。
(発表) 話すこと	相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きな曜日やその理由を紹介する表現に慣れ親しんでいる。	相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きな曜日を紹介している。	相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きな曜日を紹介しようとしている。

4 単元観

本単元【Unit3 I like Mondays.】は、児童にとって身近な題材である。学校の時間割やテレビ番組、習い事などの一週間の生活と結び付け、曜日の言い方や自分の好きな曜日を尋ねたり答えたりして伝え合うことをねらいとしている。3年生から慣れ親しんでいる **I like ~. I play ~.** などの表現を使い、それぞれの好みについて尋ね合う活動を通して、友達とコミュニケーションをとる楽しさを体験させたい。4年生は、特定の友人との仲が深まる時期でもあるので、学級の多くの友人と関わり合う楽しさを味わわせたい。

「ぼくは、○曜日が好き。こういう理由で、○曜日が好きなんだよ。」

「わたしは、○曜日は、好きじゃない。でも、□曜日は、好き。だって ~だから。」

と、児童がのびのびと自分の思いを英語で話せるような雰囲気を大切にする。

5 児童観

週1回の外国語活動の授業に興味をもって取り組んでいる児童が多い。アクティビティなど、授業内の活動にも意欲的に参加しようとする児童が多く見られる。学習した簡単な表現の外国語を使って挨拶する姿も見られ、積極的に外国語に触れ合おうとする意欲をもっている。

一方、外国語の授業アンケートでは「外国語を使って自分の思いや考えを伝えることは好きですか。」という質問に対し、34%の児童が「あまり好きではない・好きではない」と回答している。また、「自分の外国語が先生や友達に伝わっていると思いますか。」という質問に対し、31%の児童が「あまり思わない・思わない」と回答している。

児童の実態から、外国語を発話することへの不安を少しでも取り除き、たとえ間違えてしまったとしても、前向きに挑戦しようとする態度を育てたい。そのために、各時間の活動の目標を明確に示し、それをスモールステップで達成していくことで、自分の外国語が相手に伝わっていると実感させたい。また、**What ~? It's ~.**など、簡単な表現での外国語を話したり聞いたりする機会を増やし、日常化を図っていく。そうすることで、すすんで自分の思いや考えを伝えることができる児童を育てていきたい。

6 指導観

本単元では、児童に身近な一週間の7曜日の言い方や曜日の尋ね方と歌などで繰り返し慣れ親しませていく。また、曜日の言い方だけではなく、なぜその曜日が好きなのか、その理由を考えさせることにより、自分のことを伝えたいという思いが高まっていくことを期待している。さらに、ペア活動をする事により、一人一人が安心して自分の思いを表現できると考えた。単元の最後には、**ALT**に自分の好きな曜日とその理由について伝えるという活動を計画している。自分の思いが相手にしっかり伝わっている、という達成感をもてるよう、繰り返し表現に慣れ親しませていく。

7 単元計画と評価計画 言語材料

	目標	活動内容	評価規準 (評価方法)
1	<p>・単元の見通しをもつ。</p> <p>・世界の同世代の子供たちと自分たちの生活の共通点に気付くとともに、曜日の言い方を表す表現を知る。</p>	<p>【Warming up】 Let's Watch and Think1 p.11 Day of the week song</p> <p>【Today's goal】曜日の言い方や聞き方、答え方を知ろう。</p> <p>【Practice】 曜日の言い方、聞き方、答え方の練習 What day is it? It's (Monday).</p> <p>【Activity】 曜日の聞き方、答え方を友達と練習する。</p> <p>【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>What day is it? It's ~. の表現を使った、英語の音声やリズムを聞き取ろうとしている。(観察)</p>
2	<p>・好きな曜日とその理由について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p>	<p>【Warming up】 Day of the week song Key word game</p> <p>【Review】 Let's Listen1 P12</p> <p>【Today's goal】 自分の好きな曜日について友達に伝えよう。</p> <p>【Practice】 Let's Watch and Think2</p> <p>【Activity】 Activity p.13 Small talk 動画 好きな曜日が同じ友達と理由を聞き合う。 Do you like (Mondays)? Yes, I do. / No, I don't. I play soccer on Mondays.</p> <p>【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>What day is it? It's ~. Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. の表現を知り、その表現を使って、好きな曜日やその理由について尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。(観察・振り返りカード)</p>
3 (本時)	<p>・好きな曜日とその理由について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、伝え合う。</p>	<p>【Warming up】 Key word game Small talk 動画</p> <p>【Today's goal】 友達に自分の好きな曜日とその理由について紹介しよう。</p> <p>【Practice】 友達と一緒に発表するときの表現を確認する。 Do you like (Mondays)? Yes, I do. / No, I don't. I play soccer on Mondays. I watch TV on Mondays.</p> <p>【Activity】 友達と一緒に自分たちの好きな曜日について他の友達に紹介する。</p> <p>【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <p>友達の好きな曜日やその理由について知ったり、自分のことを積極的に伝えたりしている。好きかどうかを尋ねたり答えたりして、自分の好きな曜日やその理由について伝え合っている。(観察)</p>

4	<p>・ALT に自分の好きな曜日とその理由を伝える。</p>	<p>【Warming up】 Small talk 動画 【Today's goal】 D 先生に自分の好きな曜日について紹介しよう。 【Activity1】 自分の好きな曜日について ALT に紹介する。 【Activity2】 D 先生の好きな曜日について聞く。 【Reflection】 振り返りカード</p>	<p>【思考・判断・表現】 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好きな曜日を紹介している。(観察)</p>
---	---------------------------------	---	---

〈言語材料〉

What day is it? It's(Monday). Do you like(Mondays)? Yes, I do./No, I don't. I like(Mondays). Day, 曜日 (Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday), 果物・野菜 (mushroom, watermelon), 飲食物(soup, pie, sandwich), fresh
[既出] 挨拶, it, is, 飲食物, スポーツ, 遊び(play)

8 研究主題に迫るための手立て

指導の工夫	
担任 T1 としての指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを定形化することで、授業や単元の見通しをもたせるようにしている。 ・児童の実態に即して、単元計画を立てる。
慣れ親しむための効果のあるアクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな曜日について伝える表現を繰り返し練習することで、自信をもって自分のことを表現できるようにする。聞き取って身に付けた表現を、インタビュー活動カードに合わせてやり取りができるようにする。 ・教師による動画を流すことによって、本単元で身に付けさせたい表現を自然と言ったり聞いたりできるようにする。 ・ペア活動を取り入れることで、外国語での活動に不安をもつ児童でも友達のサポートを受けながら、自分のことを伝えることができるようにする。
意味のある言語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく来た ALT に自己紹介をするという単元を通した学習のゴールの設定。 ・自分がその曜日が好きな理由として伝えたい表現を取り上げることで学習への意欲を高め、児童の言いたい、聞きたい、やりたいという思いをもてるようにする。
指導と評価の一体化	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって評価していく→目指す児童像を明確化して、それを実現するために評価規準を作成し、計画的に評価していく。 ・相手意識をもった活動になるための段階的な指導。 ① 相手にはっきりと伝わるように話す、よく聴く。② 即時的に反応する。(予想する、言葉を使った相槌、繰り返し、聞き直しなど) ・中間評価→児童と共有したい場面があったら、即時的に意図的に行う。

9 本時（3／4）

（1）本時の目標

- ・自分の好きな曜日やその理由を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、友達と伝え合う。

（2）本時の展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	◎評価〈方法〉
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>【Warming up】 Key word game</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日の言い方を確認する。 	
展開① 15分	<p>【Small talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が自分の好きな曜日について話している動画を見る。 <p>【Today's Goal】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあて「友達に自分の好きな曜日とその理由について紹介しよう。」を知る。 <p>【Practice】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの友達と一緒に言うときの表現を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が自分の好きな曜日について話している様子を見せ、活動への動機付けをする。 ・教員がコミュニケーションの手本となるようにする。どんな話をしていたか、好きな理由は何か、どんな表情をしていたかなど、良かった点を確認する。 ・＜Good listener＞について確認する。 (予想する、目を見る、繰り返す、聞き返す、相槌を打つ、ほめる、お礼を言う、など) <p>目的：ALT に自分の好きな曜日とその理由を伝える。友達が毎週のようにしていることや興味をもっていることについて知り、相互理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてを確認することで、学習の見通しがもてるようにする。 	

展開②
20分

〈Practice の流れ〉

例：

ABCD : Hello.
AB : Do you like (Mondays) ?
CD : Yes, I do. / No, I don't.
 I like (Fridays).
C : I play soccer on Mondays.
D : I like piano lessons on
 Mondays.
AB : That's good. (→交代)
ABCD : Bye.

【Activity】

〈activity の流れ〉

例：

- ・ペアの友達とその曜日を好きな理由を別の友達に紹介する。

ABCD : Hello.
AB : Do you like (Mondays) ?
CD : Yes, I do. / No, I don't.
 I like (Fridays).
C : I play soccer on Mondays.
D : I like piano lessons on
 Mondays.
AB : That's good. (→交代)
ABCD : Bye.

- ・中間評価では、〈Good listener〉である児童を取り上げ、全体で確認した後、ペアを解散し一人で活動を再開する。

- ・インタビュー活動カードを用いて、児童の会話の円滑化を図る。
- ・好きな曜日の理由は、7語以内の短い表現にすることで、児童が互いの会話を理解できるように配慮する。

- ・上手く表現ができなければ、ペアが手助けをしてもよいことを伝える。友達の意図を汲んで、手助けできることの良さを改めて伝える。

- ・〈Good listener〉である児童を評価し、共有する。
- ・活動に発展性をもたせ、自分一人の力で好きな曜日について、英語で友達に伝えられた達成感をもたせる。

◎友達の好きな曜日やその理由について知ったり、自分のことを積極的に伝えたりしている。好きかどうかを尋ねたり答えたりして、自分の好きな曜日やその理由について伝え合っている。【思考・判断・表現】〈観察〉

	<ul style="list-style-type: none"> ・活動後、友達と話した内容を覚えているか質問する。 <p>T: I like Mondays. I play soccer on Mondays. Who am I?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の話した英語が伝わっている、覚えてくれている、という実感をもたせる。 	
<p>終末 5分</p>	<p>【Reflection】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書き、自らの活動を振り返る。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動でできたことや、次回頑張りたいこと、友達のよかったところなどを具体的に書くように声を掛ける。 	<p>◎次回の活動に生かせるように本時の活動を振り返っている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 (振り返りカード・発言)</p>

(3) 板書計画

<p>Today's goal : 友達に自分の好きな曜日とその理由について紹介しよう。</p>	
<p>授業の流れ</p>	<p>曜日カード</p>
	<p>インタビュー活動カード</p>

終末 5分	【Reflection】 ・振り返りカードを書き、自らの活動を振り返る。 ・挨拶をする。	・本時の活動でできたことや、次回頑張りたいこと、友達のよかったところなどを具体的に書くように声を掛ける。	
----------	---	--	--